

# 日本組織適合性学会誌 MHC の投稿規定

## 1. 投稿規定

### 1.1. 原稿様式

提出原稿がそのまま電算写植で印刷できるように、原稿は全て、コンピューターのフロッピーディスクとA4サイズでプリントアウトしたものの両者を提出する。ソフトはMSWordとする。字体、サイズ、行の字数、行間、などの体裁は自由とする。また、図表については、写植でそのまま掲載できるものを提出するが、挿入箇所を本文に指定する。図については天地を明示する。印刷の際に、縮小または拡大する場合があるので、考慮すること。また、図表の題や説明はワードで、本文とは別頁に添付する。なお、掲載された論文等の著作権は、日本組織適合性学会に属し、インターネットを通じて電子配信されることがあります。

### 1.2. 原著論文

会員からの投稿を原則とするが、編集委員会が依頼することもありうる。日本語、英語を問わない。最初の一頁はタイトルページとし、タイトル、著者名、所属、脚注として代表者とその連絡先(電話、FAX、E-mail、郵便番号、住所)を記す。タイトル、著者名、所属は次の様式にしたがう。

Nucleotide sequence for a Cw8 subtype, Cw8N, and its association with HLA-B alleles. Fumiaki Nakajima<sup>1)</sup>, Yoshihide Ishikawa<sup>2)</sup>, Junko Nakamura<sup>1)</sup>, Toshio Okano<sup>1)</sup>, Chieko Mori<sup>1)</sup>, Toshikazu Yokota<sup>1)</sup>, Ling Lin<sup>2) 3)</sup>, Katsushi Tokunaga<sup>1)</sup> and Takeo Juji<sup>1)</sup>

- 1) Kanagawa Red Cross Blood Center, Kanagawa, Japan
- 2) Department of Research, Japan Red Cross Central Blood Center, Tokyo, Japan
- 3) Department of Transfusion and Immunohematology, University of Tokyo, Tokyo, Japan

HLA-Cw8 のサブタイプ “Cw8N” の塩基配列および

### HLA-B 座との関連分析

中島 文明<sup>1)</sup>, 石川 善英<sup>2)</sup>, 中村 淳子<sup>1)</sup>, 岡野 俊生<sup>1)</sup>, 森 知恵子<sup>1)</sup>, 横田 敏和<sup>1)</sup>, 林 玲<sup>2) 3)</sup>, 徳永 勝士<sup>2)</sup>, 十字 猛夫<sup>2)</sup>

- 1) 神奈川県赤十字センター, 検査課,
- 2) 日本赤十字中央血液センター, 研究一課,
- 3) 東京大学医学部附属病院, 輸血部,

内容は二頁目よりはじめ、要約 (Summary), はじめに (Introduction), 材料と方法 (Materials and Methods), 結果 (Results), 考察 (Discussion), 参考文献 (References) の順に記載する。また、要約の末尾に日本語で5語以内のキーワードを加える(英文の場合には英語の Key words を加える)。脚注は適宜、設けてもよい。日本語で投稿の場合には、末尾に英語のタイトル、著者名、所属(様式は上述に従う)、英語の要約と英語で5語以内の Key words をつける。枚数に特に指定はないが、速報的な短報(全体で、2,000~3,000字、出来上りA4版で2~4枚程度)を中心とする。もちろん、full article も歓迎する。また、新対立遺伝子、日本人に認められた希な対立遺伝子に関する報告も受け付ける。なお、参考文献 (References) の記載については、下記 1.5 を参照すること、オリジナル1部にコピー3部を添えて、編集長宛(下記3参照)に送付する。

### 1.3. 総説、シリーズその他

編集委員会からの依頼を原則とするが、会員からの投稿も大いに歓迎する。日本語を原則とする。タイトル、著者名、所属は上記 1.2. の通りにしたが、要約と要約の末尾に日本語で5語以内のキーワードを添える。その他の体裁は自由とするが、構成がいくつかの章、節などから成る場合には、次の番号に従い、適当な見出しを添える。

1. 2. 3. 4. ………
- 1.1. 1.2. 1.3. ………
- 1.1.1. 1.1.2. 1.1.3. ………

脚注は適宜，設けてもよい。なお，参考文献 (References) の記載については，下記 1.2.を参照すること。

#### 1.4. 校正

校正は編集委員が行い，特別な場合を除き，執筆者は校正を行わない。

#### 1.5. 参考文献

参考文献は，本文中に数字で，例えば(3)，の様に表示し，末尾にまとめて，次のようなスタイルで記載する。ただし，著者名，または編集者名は，筆頭3名まで記載し，以下は省略する。

1. Komatsu-Wakui M, Tokunaga K, Ishikawa Y, *et al.*: Wide distribution of the MICA-MICB null haplotype in East Asian. *Tissue Antigens* **57** (1): 1-8, 2001.
2. Tokunaga K, Imanishi T, Takahashi K, *et al.*: On the origin and dispersal of East Asian populations as viewed from HLA haplotypes. *Prehistoric Mongoloid Dispersals* (eds. Akazawa T, Szathmary

EJ), Oxford University Press, p. 187-197, 1996.

3. 徳永勝士，尾本恵市，藤井康彦ら：HLA に連鎖した遺伝標識に関するハプロタイプ調査，移植，**18**: 179-189, 1983.
4. 徳永勝士，大橋 順：疾患遺伝子の探索．わかる実験医学シリーズ「ゲノム医学がわかる」(菅野純夫編)，羊土社，p. 48-55, 2001.

#### 2. 別刷

原著論文については，別刷は有料とする。その費用は部数，頁数による。

#### 3. 原稿送付先

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1  
東京大学大学院医学系研究科  
人類遺伝学分野  
日本組織適合性学会誌 MHC  
編集長 徳永 勝士

TEL: 03-5841-3692

FAX: 03-5802-2907

E-mail: tokunaga@m.u-tokyo.ac.jp

**編集後記**

今年もまた、年に一度の大会シーズンがやってきました。早いもので大会ももう14回を数えます。私は幸運にも第1回より皆勤で参加して参りましたので、それぞれの大会を懐かしく振り返ったりしています。年に一度、いつもの顔ぶれが集まって、HLAのこと、研究のことなどをアツク楽しく語るこの大会は、自分の中で大切な年中行事のひとつになっています。

今大会は一般演題も42題を数え、特に新しい方のご発表が増えたように思います。組織適合性という、掘り所のありそうな、なさそうな分野ですが、これからもこの学会が繁栄し続けるように、若い方の熱意と積極的な参加に期待がかかるところです。皆様もご承知の通り、前年度日本学会事務センターの破産により、本学会も相当な被害を受けました。財政的にはかなり苦しい状態です。しかし、学会長の木村先生、編集長の徳永先生のご努力のお陰を持ちまして、このような立派な装丁の(と編集委員が述べるのも何ですが)学会誌を滞りなくお届けできる今日この頃です。会員の皆さまにはご事情をご理解頂き、財政難を吹き飛ばす勢いで大会参加、学会誌への投稿をお待ちしております。共にがんばりつつ、熊本でお会い致しましょう！

成瀬 妙子

**「MHC」バックナンバー**

一冊¥2,000にて購入できます。学会事務局までお問い合わせ下さい。なお在庫僅少の号もありますので、万一品切れの際にはご容赦ください。

**入・退会、所属・住所・連絡メールアドレス変更**  
各種の申請は、学会事務局で受け付けます。

日本組織適合性学会事務局  
〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台2-3-10  
東京医科歯科大学 難治疾患研究所 分子病態  
分野内

電話 03(5280)8054

FAX 03(5280)8055

電子メール jshijimu.tis@mri.tmd.ac.jp

**日本組織適合性学会ホームページ**

学会活動に関する情報や HLA 遺伝子の塩基配列情報が利用できます。

<http://square.umin.ac.jp/JSHI/mhc.html>

<http://jshi.umin.ac.jp/mhc.html>

**MHC**

Major Histocompatibility Complex

Official Journal of Japanese Society for Histocompatibility and Immunogenetics

2005年8月31日発行 12巻2号, 2005

定価 2,000円

発行 日本組織適合性学会(会長 木村 彰方)

編集 日本組織適合性学会編集委員会(編集担当理事 徳永 勝士)

平成8年7月24日 学術刊行物認可

日本組織適合性学会事務局(事務担当理事 十字 猛夫)

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-3-10 東京医科歯科大学難治疾患研究所分子病態分野内

印刷・研究社印刷株式会社

〒352-0011 埼玉県新座市野火止7-14-8